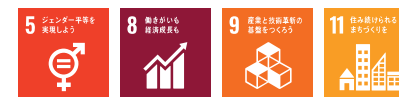


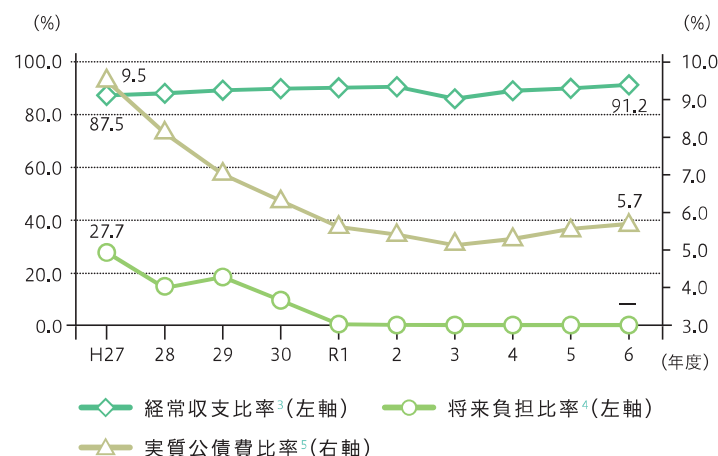
# 将来世代に責任を持つ持続的な行財政運営 (行財政運営)(行財政改革推進プラン)



## 現状と課題

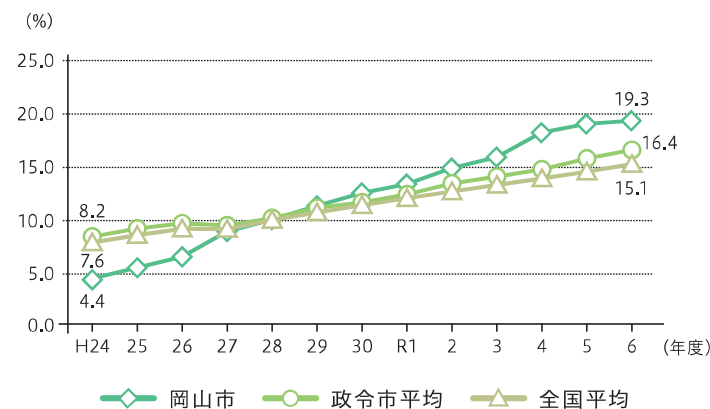
- 人口減少や高齢化が進行する社会において、デジタル技術の急速な進展やインフラの老朽化、大規模災害等への適切な対応が求められる中、総合計画に基づくまちづくりを進めるためには、将来世代に責任を持つ行財政改革の推進により、財政運営の健全性を確保していく必要があります。
- 公共施設等の約7割が築後30年以上経過し、今後、改修・更新等にかかる費用の増加が見込まれる中で、市民サービスを安定的に提供していくためには、公共施設等の機能や規模の最適化を図りつつ、適切に管理・運営を行う必要があります。
- 市政を取り巻く環境が複雑化・多様化する中で、市民の信頼と期待に応えることのできる市役所づくりを進めるためには、時代の変化に柔軟に対応できる組織体制を構築し、様々な行政課題に的確に対応するとともに、質の高い市民サービスを提供していく必要があります。
- 市民サービスの向上と行政事務の効率化を図るため、「書かない窓口」の導入による窓口改革やRPA<sup>1</sup>の活用などを進めてきました。引き続き、オンライン申請の拡充や、AIの活用などによるDX<sup>2</sup>の推進が求められています。
- 市民サービスを安定的、持続的に提供していくためには、職員一人ひとりの適正な業務遂行を支える体制の確立が求められています。また、市民が市政を身近に感じ、信頼と共感を抱けるようにするためには、様々な機会・手法を通じて市民の意見を的確に把握し、市政運営に反映するとともに、市政情報の発信力を向上させていく必要があります。

## 財政状況の推移



(資料)岡山市の財政状況(第27版)

## 女性管理職割合の推移(一般行政職)



(資料)内閣府男女共同参画局  
「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

## 施策の方向性

### 施策① 健全で持続可能な財政運営

- 既存事業の抜本的な見直しや経常的経費の見直しの徹底、有利な財源の活用等により、必要な財源確保を図ることで、財源調整のための基金の残高を一定程度保ちつつ、市債の残高や指標にも留意しながら、将来世代に負担を先送りしない中長期的な展望に立った健全で持続可能な財政運営を行います。

### 施策② 公共施設等の適正な管理と有効な活用

- 道路、上下水道等の社会基盤を含めた公共施設等の総合的で一体的なマネジメント計画に基づき、人口構造の変化等に伴う施設需要の変化を見据えながら、集約化や複合化・多機能化等による施設配置の最適化や総量の適正化、施設の長寿命化を進めることにより、財政負担の軽減・平準化を図り、安定的な市民サービスの確保に努めます。

### 施策③ 時代の変化に柔軟に対応する組織づくり

- 市を取り巻く環境の変化に伴い複雑化・多様化する新たな行政課題に対応するため、政策分野の重要度に応じて、メリハリをつけて職員配置できるよう、組織を最適化します。
- 組織全体で職員の能力を高め、その力を最大限に引き出すよう取り組むとともに、職員がやりがいや成長実感を得られるよう支援し、新たな行政課題の解決に向けて果敢に挑む組織文化を醸成します。あわせて、DXの推進を支える人材の確保・育成に努めます。
- 多様で柔軟な働き方<sup>6</sup>ができる職場環境を整備し、性別やライフステージにかかわらずすべての職員が活躍できる市役所をめざします。

### 施策④ 市民サービス向上のためのDXの推進

- 市民や事業者が市役所等の窓口に行かなくても、いつでも、どこでも、迅速かつ簡単に行政手続きを完結できることをめざして、行政手続きのオンライン化等を推進します。
- AIやRPA等のデジタル技術の活用、BPR<sup>7</sup>の実施、システムの標準化・共通化を進め、業務の効率化を図ります。

### 施策⑤ 信頼と共感を得る市政運営

- 広報紙やホームページ、SNS等の様々な媒体を用い市政情報の発信内容や伝え方の工夫に努め、より多くの市民に向けて、わかりやすく伝わりやすい方法で市政情報を発信します。あわせて、オープンデータ<sup>8</sup>の充実を図ります。
- 市民団体との懇談会やパブリックコメントなどを通じて市民ニーズを的確に把握し、市政運営への活用を図ります。
- 「岡山市の内部統制に関する方針」に基づき、事務の適正な執行を確保するための仕組みを充実させ、職員一人ひとりの適正な業務遂行を実現します。
- DXの推進に当たっては、個人情報適切な取扱いと情報システムの安全性を確保するため、情報セキュリティ対策の徹底に努めます。
- 市の諸活動や歴史的事実の記録である公文書が、市民共有の知的財産であることに鑑み、適正な公文書管理や市民が歴史的公文書を利活用できる環境の整備により、現在及び将来の市民に対して説明責務を果たします。

#### 用語説明

- 1 RPA：これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。
- 2 DX：P12の脚注参照。
- 3 経常収支比率：人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源等の合計額に占める割合。
- 4 将来負担比率：一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模を基本とした額に対する比率。

- 5 実質公債費比率：一般会計等が実質的に負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模を基本とした額に対する比率。
- 6 柔軟な働き方：P41の脚注参照。
- 7 BPR：既存の業務プロセスを一から見直すことにより、業務の効率化や市民負担の軽減等の抜本的な見直しを行うこと。
- 8 オープンデータ：機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールで公開されたデータのことであり、手を多くかけずにデータの二次利用を可能とする。

## 成果指標

指標名	基準値 R6	目標値 R12
実質公債費比率	5.7%	政令市平均値 以下
無意識の思い込み (アンコンシャス・バイアス <sup>9</sup> )によりキャリア 形成が阻害されていると感じる職員の割合	—	0%
主な証明書の コンビニ交付サービスによる交付率	31.4%	60%
市から必要な市政情報を得ることが できていると思う人の割合	45.7% (R5)	50% (R11)

## 主な事務事業

### 施策① 健全で持続可能な財政運営

#### 財政運営の健全性確保

財政局

- 経常的経費の見直しの徹底と、有利な財源の活用や新たな歳入確保などによる必要な財源の捻出

### 施策② 公共施設等の適正な管理と有効な活用

#### 公共施設等マネジメント推進事業

財政局

- 「岡山市公共施設等総合管理計画」と「個別施設計画」に基づく公共施設等マネジメントの推進
- 未利用地等の売却及び民間利用等の促進

## 用語説明

<sup>9</sup> アンコンシャス・バイアス：P12の脚注参照。

## 施策③ 時代の変化に柔軟に対応する組織づくり

### 適正な定員管理

総務局

- 定員管理の適正化を図る方針に基づく適正な定員管理の実施

### 人材育成と成長支援を通じた職員の能力向上

総務局、政策局

- 職員の能力や意識・意欲の向上に向けた研修の充実や、職員の育成及びキャリア形成を念頭に置いた人事配置等
- DXの推進を支える人材の確保・育成

### すべての職員が活躍できる職場づくり

総務局

- 性別にとらわれない適材適所の人事配置や研修等によるキャリア形成意識の醸成による、より多様性を備えた組織づくりの推進

### 職員のワーク・ライフ・バランスの推進

総務局

- 職員の心身を健康に保ち、職務へ意欲を高めるため、仕事と家事、子育て、介護等が両立できる職場づくりや、AI等を活用した業務改善等の働き方改革の推進

## 施策④ 市民サービス向上のためのDXの推進

### 窓口サービスの向上

政策局

- 証明書のコンビニ交付や行政手続きのオンライン化の推進
- 窓口手続きの負担を軽減するための書かない窓口の推進
- 公金支払手続きのデジタル化の推進

### 業務の効率化

政策局

- AI、RPA等のデジタル技術の活用や、業務プロセス等の抜本的な見直し
- 情報システムの標準化・共通化
- ペーパーレス化の推進や、オンライン会議の活用等のワークスタイルの見直し

## 施策⑤ 信頼と共感を得る市政運営

## 伝わりやすい市政情報の発信

市長公室

- 広報紙やホームページ、SNS等、様々な広報媒体の特性をいかし、市民の声を取り入れながら「伝わる」ことを意識した市政情報の発信

## 適正な内部事務の統制と広聴機能の充実

市長公室、政策局、総務局

- 適正な事務執行の確保のため、内部統制制度の充実
- 公文書等の適切な管理による、市政の適正かつ効率的な運営
- 情報セキュリティ対策の徹底
- 市民団体との懇談会、パブリックコメントなどによる市民ニーズの把握と市政への活用